



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー第 2620 地区 甲府北 ロータリークラブ

2023-2024 年度 2637 回例会 3 月 6 日

地区ガバナー 中村 皇 積 クラブ会長 志村 浩男

本日のプログラム

●水と衛生の時間

●会長の時間 志村 浩男 会長

今月のロータリーのテーマは「水と衛生月間」です。今日はトイレの話をしたと思います。皆さん LGBTQ はご存じですね。では L G B T Q の Q はどんな意味か分かりますか？ Q は queer で奇妙なとか怪しいという意味です。かつてはいわゆる変態を意味していました。L G B T Q の普及により queer は肯定的な意味に変容し L G B T 以外の性的嗜好を持つ人々を法的に守る意味となりました。日本では L G B T Q 法案が可決されジェンダーレスのトイレが次々と生まれつつあります。しかしつい最近新宿駅近くに東急歌舞伎町タワーが竣工し飲食ゾーンにジェンダーレスの公衆トイレができましたが一般客からの苦情ですぐに男女別のトイレに改修されました。女性の皆さんにとってジェンダーレスのトイレなど危険極まりないからです。この様に LGBTQ は一般多数の普通の人々へは逆差別となっているのです。LGBTQ をさらに進めていくと男女という区別を希薄化させ、ひいては父母を基礎とする家族、家庭という概念をも否定する世界へとつながっていくのだと思います。自然環境、家族家庭を基礎に世界中には様々な風土文化国柄が生まれてきました。この様に地球上のそれぞれの地域で生まれた一人一人はアイデンティティを持ち伝統を受け継ぎます。しかし家族家庭を前提としない世界は人間をバラバラにしてアイデンティティや伝統を喪失させ性別国籍により区別や差別をされない世界を実現させます。国家という枠組みが消えていくことにつながります。経済的には世界中の公的事業も次々と民営化され国家さえも民営化されようとしています。国境も国籍も意味を持たず全てがお金で買えるグローバリズムへと向かわされています。ロシアウクライナ戦争もお金で雇われた傭兵による戦争です。戦争さえ民営化です。お金の下ではすべての差別がない地球市民的世界を望む人々が世界を変えようとしているのです。父母により家庭が営まれそれぞれの家庭一軒一軒により地域が営まれそれぞれの地域により国家が形づけられる世界の否定を望む人々が今の世界を変えようとしているのです。

ロータリーも LGBTQ、SDGS を肯定しグローバリズムに肯定的です。家庭や地域を解体させかねないロータリーの方針について今一度立ち止まって再考しませんか。子供や孫、日本の将来が心配です。

●2636 回例会 (2/28) ニコニコボックス紹介 ♡大口 ◇トリプル ◎ダブル

近藤 古屋さん、お話しよろしくお願ひいたします。

志村 美緒さんようこそ！今日の出会いを楽しみにしておりました。よろしくお願ひ致します。

廣瀬 古屋美緒さん、お話し楽しみです。

●幹事報告

- 3 月のロータリーレートは 1 ドル 151 円になりました
- 令和 6 年能登地震の義援金が、44,422 円になりました。早速地区に送金致します。皆様ご協力いただきありがとうございます。
- 4 月 28 日 (日) に市内 8RC 合同親睦ゴルフコンペを甲府北クラブがホストとなり、甲斐ヒルズカントリー倶楽部で開催します。ホストクラブとして盛大に開催できるようご協力をよろしくお願ひいたします。

●地球歌で世界を平和にするプロジェクト



古屋 美緒 2008年6月22日生まれ(15歳) 山梨学院中学校 三年生
プロジェクトのきっかけ

私は、世界平和の実現に向けたアイデアを発表する「子ども世界平和サミット2023」に日本代表として選ばれました。衆議院会館国際会議場でスピーチをする機会をいただき、世界を平和にするアイデアとして、地球歌の作成を訴えました。国際的なイベントで地球歌を歌うことで、例えば短時間でも、世界中の人々の心が

ひとつになるのではないかと

私はこのアイデアで、ピースフル賞を受賞しました。

この時に審査員の方からかけていただいた、「ぜひ本当に実現してほしい」という言葉が、このプロジェクトを始めるきっかけとなりました。

こども世界平和サミット 開催趣旨

心身ともに発達する10代の重要な時期に、多国籍の子ども達と平和について学び考える体験を通し国際協力への関心を高め、国際社会で世界平和実現のために活躍する力を育てる

世界の子ども達から平和を創るためのアイデアを募集。

世界20か国(日本、アメリカ、インドネシア、オーストラリア、イギリス、イタリア、韓国、ギニア、コートジボワール、スリランカ、タイ、中国、ナイジェリア、ネパール、フィンランド、ブラジル、フランス、マレーシア、ラオス、リトアニア)から200件を超える応募があり、その中から選ばれた子ども代表12名が、衆議院議員会館国際会議場でスピーチ致しました。

Most Peaceful賞 河村 波音 Hanon Kawamura (14歳・日本)



世界各国で提携する学校を増やし、国際交流を行う

私が提案するのは、KIZUNA PROJECT FOR PEACEです。

それは、世界各国の教育機関が主となって海外の学校と提携し、国際的友好関係を築くことを目的としたプロジェクトです。そのプランは、小学生から始めます。短期間キャンプやイベントを開催し英語と母国語を話すバイリンガル話者がスタッフとして、学生がお互いの歴史や文化、自分の意見や考え方をより理解できるように国際交流のサポートをします。

中高校生には、国際的な絆をより強いものとするためのプログラムを実施します。

このプログラムでは、多角的な視点から世界規模の問題を探求し、議論し、検討し、批判的思考スキル(CRITICAL THINKING SKILL)を身につけ、論理的かつ客観的に考えることを学びます。

Most Peaceful賞 R. S.カスミラ・ジャヤウィーラ R. S. Kasmira Jayaweera (18歳・スリランカ)



他の人の話を聞き、世界と人生の現実を学び理解する

私自身、日本語を勉強するようになって、桜の美しさをそれまで以上に感じるようになりました。

複数の言語を学ぶことで、生徒たちは互いを意識し、尊重し、自分たちらしさを育むことができます。

だからこそ、語学教師になって自分のランゲージ・センターを立ち上げ、語学を教えるだけでなく、平和と一体感を表現する短編映画や詩、ドラマなどの芸術的アプローチで異文化間の絆を深めることが私の夢になったのです。

平和は巨大な城のようなものです。それを築くためには、それぞれの小さな行動が重要です。

それと同じように、平和は、友情、思いやり、受容といった、あなたのほんの小さな行動によって創り出されます。結論として、時にはただ「ごめんなさい」という言葉から始まるのかもしれませんが。

Most Peaceful賞 エミリ ルクレルク Emilie Leclercq (17歳・フランス・日本)



世界中の人達と知り合って語らうための、新たなSNSを作る

地球規模の平和を確保するためには、恐怖の連鎖を終わらせなければなりません。

そのためには、お互いを知ること、特に文化やバックグラウンドが異なる人々を知ることが重要だと思います。

現代では、ソーシャルメディアを通じて世界中のユーザーとつながることができる幸運に恵まれています。

しかし、ほとんどの場合、アルゴリズムで、フランス人、日本人、英語圏のユーザーのコンテンツしか表示されません。

このため、私は他の国の人々と出会うために特別に作られた新しいソーシャルメディアプラットフォームの創造を提案します。私はこのプラットフォームにより、新しい文化を知り、自分とは異なる人々を恐れなくなることを願っています。

そうすることで、より平和でより良い世界を作ることができます。

Peaceful賞

トーン・ジン・ウェン Thoon Jing Wen (10歳・マレーシア)



PeaceBeyondを作成して、若者を団結させる

世界平和を実現するためには、若いうちからお互いのことをよく理解し、人々を団結させることが大切です。私は、「PeaceBeyond」というグローバルなアプリを作ることを提案します。例えば、週に1回善い行いをする、毎週感謝していることを3つ日記に書くなどミニチャレンジがあり、ポジティブな考え方や良い習慣を身につけることを目指します。

Peaceful賞

洪 琥珀 Kohaku Omizu (11歳・日本)



「子どもパスポート」は、未来を担う世代と世界を繋ぐ

私が提案するのは、世界中の子どもだけが持つことの出来る「子どもパスポート」です。子どもパスポートは子供なら誰でも持つことが出来て、希望する国や地域に自由に行けるパスポートです。国や人種を超えて、子どもたちが持つ限りない可能性を未来へ育て繋げていくしくみで、世界全体で子供たちの成長をサポートします。

Peaceful賞

古屋 美緒 Mio Furuya (15歳・日本)



地球歌を作成し、世界規模の行事で「地球歌斉唱」を行う

胸に手を当てて国歌を口ずさむという行為は、自国への誇りの表れであると考えます。君が代を歌う選手達を見る時、私は「同じ国に生まれた仲間なのだ」と強く感じます。世界中の人達が同じ瞬間にそんな気持ちを共有できれば、世界は平和になるのではないのでしょうか。そこで私は、世界を平和にするため、「地球歌の作成」を提案します。

Peaceful賞

オアンティヤパット・テチャタナサーンソムパット Oanthiyaphat Techatanasarnsombat (18歳・タイ)



平和交流プログラムを作り、平和イノベーション・ラボを設立

平和とは、寛容さ、共感、そしてあらゆる多様性を尊重する文化が育まれることです。異なる国の学生がお互いの学校で一学期を過ごし、お互いの文化や伝統を学ぶグローバルな平和交流プログラムを作り、世界平和に向けた創造的な解決策をブレインストーミングし、実験し、協力する場所となるイノベーション・ラボを設立しましょう。

Peaceful賞

川島 梨聖 Rise Kawashima (17歳・日本)



幸せを感じるものや時間等を共有する #share my happiness運動

私が提案したい活動は、「#share my happiness」運動です。この運動は、気軽に参加でき、世界全体でつながることができるインスタグラムなどのSNSで、国籍も、年齢も、性別も、人種も違うあらゆる人が幸せを感じるものや時間を共有する、すなわち「幸せをお裾分け」することで、幸せについて考える機会を設けるといいます。

Peaceful賞**ダニエル・ヤリアニアウスカス Danielius Jalianiauskas (17歳・リトアニア)****若者が人生自体に夢中になり、世界中友達と楽しむ**

平和は創り出すことができるものではなく、広めて他の人と「共有する」ものです。

若者はTikTokやYouTubeのショートムービーのウサギの穴（迷路）に迷い込むのではなく、オンラインで友達と数時間話すべきだと思っています。

バタフライ効果を正しく適用することで、愛が若者から広まり、世界がより良い場所になるように花を咲かせましょう。

Peaceful賞**オレア ケアラ フランセス Keala Frances OLEA (11歳・日本・アメリカ)****思いやりを隣人に伝えて、それをリレーしていく**

わたしが考える世界を平和にするとは「私たち1人1人が思いやりを隣人に伝えていく事」＝「平和のリレー」です。

私たちが平和のリレーをするために、まずは自分のこととして考え、関心を持ちましょう。

初めに自分で考えたことがいつか言葉や行動になっていくからです。

世界中の国々が互いに共存することを望みます。

Peaceful賞**クリシャムス・バハドゥール・スベディ・チェトリ Krishamsu Bahadur Subedi Chhetri (19歳・ネパール)****社会の安定、平穏、実質の強化**

平和は調和、人間性、謙虚さの光と輝きをもたらすランプです。

それは人間社会に安定と平穏と賢明さをもたらします。

「地球上の私たちはみな家族」という意味のマントラを唱え、すべての人と友好を築き、誰とも敵対しないことを信じるべきです。平和をもたらすことができるのは他の誰でもなく、自分自身です。

Peaceful賞**ライマン・チャイル・ディビィ・ダグリー Lyman Chail Diby-Dagry (16歳・コートジボワール)****衣料品ブランドの設立や、SNSで#Atouhhの挑戦**

平和とはまず誠意、真実、思いやり、無関心、そして何よりも隣人愛だと考えます。

私は「Atouhh」という名前の衣料品ブランドを作成することを提案します。

Atouhhはコートジボワールの言葉で「抱擁」を意味します。

ですので、もちろんこの衣料品ブランドを着て抱きしめることが求められます。

この洋服のブランドは、平和クランのメンバーの認識方法になるでしょう。

●他クラブの例会変更

- 甲府南 RC 3月19日（火） 休会（祝日が含まれる週のため）
- 甲府 RC 3月18日（月） 休会（祝日が含まれる週のため）
- 甲府東 RC 3月8日（金） 特別休会
3月15日（金） 休会
- 甲府西 RC 3月21日（木）→3月24日（日） 集合・点鐘 12時30分
場所 かいてらす3階大ホール
山梨第2グループIM参加のため